



特集

御逝去 50 年

名古屋石田学園創立者

石田 鋹徳 先生



学校法人 名古屋石田学園

〒460-0008 名古屋市中区栄1-14-32

TEL.052-689-6002 FAX.052-689-6003



星城大学・大学院



星城高等学校



星城中学校



星の城幼稚園



専門学校星城大学リハビリテーション学院



名英図書出版協会



法人本部

御逝去50年 特集

名古屋石田学園創立者

いしだ せんとく

石田 鏞徳 先生 享年 69 歳

シリーズ II

昭和50年(1975)12月23日、午後10時20分、胸部大動脈瘤破裂で吐血する中「ありがとうございました。ありがとうございました。ありがとうございました。」と3回ほど呟かれたのが臨終の言葉でした。真に「報謝の至誠」そのものの人生であられました。

今年で早49年、仏式では「円融院愛郷積徳居士」50回忌の年です。

先生は昭和10年(1935)、教育界に身を投じ、40年間青少年に語りかけ、また手を握り、手を引いて、自らは感謝、「合掌」に明け暮れる真実一途の人間であられました。名古屋石田学園の監鵬*は昭和16年(1941)、明德学館の創立です。ただただ青少年の人格形成に徹せられた34年間でした。

一時、数ヶ月入院をされていた時もありましたが、亡くなるその半年間は生徒、保護者との対応で忙しく「生徒のために死ねば本望」と、若く健康な者でも倒れかねない日々「棺を背負う10年が人間の最も充実した時期である。古希を来年に迎えこの10年間私は全身全霊をもって生徒と共に歩む」と強靱な精神力で、ただ一生懸命に我が身に鞭打って頑張っていたのです。

今年が学園創立83年、創立者を知る人は学園内では3人の子息だけで年々「建学の精神」の思想が希薄になって来ています。私は二代目として宿命を背負い学園に勤務して57年間、ひたすら「星を継ぐ」と建学の精神の高揚、具現化に尽力してまいりました。しかし「創業易守成難」とあるように、まだまだ前途多難、力量不足に忸怩たる思いです。

名古屋石田学園の存在する意義は何でしょうか、創立者の遺産である「建学の精神」を率先垂範で実践して、生徒、学生の人格形成に努めていくことです。そこで学園全職員、関係諸氏には、この御逝去50年を機に原点に立ち戻っていただく覚悟を持って欲しいと願っています。創立者がたえず私共に訴えていたお言葉です。

『吾 何であるか
吾 何によって有り得るか
吾 何を為すべきか』

学校法人名古屋石田学園
理事長・学園長 石田 正城

1906~1975

石田鏞徳先生功績・荣誉

◇功績

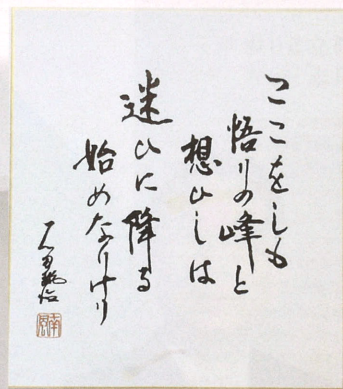
石田鏞徳先生は明治39年3月18日、西春日井郡山田村大野木に生まれ、苦学して昭和9年早稲田大学を卒業し、世界に視野を求めて外遊された後、昭和16年に錬成道場明德学館、昭和20年には、英語の重要性を痛感し、名古屋英学塾・名英図書出版協会を設立、英語の普及に尽くされた。昭和38年に中等教育、ついで昭和46年には幼児教育の重要性に鑑み星城高等学校、星の城幼稚園を創立する。理事長、学園長として報謝の信念のもと青少年育成に全力を傾けたが、昭和50年12月23日急逝する。享年69歳。功績により、愛知県知事賞、藍綬褒章、教育文化功労賞、従五位勲四等瑞宝章を賜わる。

◇荣誉

- 昭和33年6月 私学振興寄与の功績により愛知県知事賞を受ける
- 昭和46年11月 多年教育に寄与した功績により藍綬褒章を賜わる
- 昭和50年11月 愛知県知事より教育文化功労者として表彰を受ける
- 昭和50年12月 従五位勲四等瑞宝章を賜わる



創立者 石田鏞徳先生



【創立者 座右の銘】

*監鵬(らんしょう)・・・始まり。起源。



開校20周年にあたって

学院長 坂口 勇人

専門学校星城大学リハビリテーション学院は、名古屋石田学園の建学の精神である「彼我一体」の教えに基き、人間性(Humanity)、主体性(Identity)、技能(Technical skill)の3つを合わせたHITsを教育理念に掲げ、思いやりの心を持つ人間性豊かな「医療・福祉・保健」分野に貢献する理学療法士の育成に取り組み、この20年間で理学療法士836名を誕生させました。建学の精神に基づいた人格形成重視の教育効果が、医療現場で実証されていると思うと実に誇らしく、より一層成就するようカリキュラムを呼応させ、次代の趨勢に適時反応し、患者様に寄り添える臨床家を世に送り出せるよう職員一同邁進してまいりますので、今後ともご指導ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



【記念式典の壇上で挨拶する石田正城理事長】



【西川流によるNOSS披露】



【西川千雅四世家元】

令和6年11月23日(土)、ミッドランドホールにて開校20周年記念式典を挙行し、合わせて記念披露や記念講演を開催いたしました。

記念披露では、日本舞踊西川流四世家元の西川千雅氏をお招きして、NOSS(Nihon Odori Sports Science)をご披露いただきました。家元に、誰でも取り組みやすい運動であるNOSSを紹介していただき、参加者全員でHINAGIKU・子HINAGIKUさんたちをお手本と一緒に踊りました。

記念講演では「車いすだから行けた場所」というテーマのもと、車いすフェンシング日本代表恩田選手(星城高等学校・平成7年卒業)に競技の魅力、東京パラリンピックの様子や裏話などを交えてご講演いただきました。奥様と息ぴったり、競技用具や車いすの特徴など、1つ1つご説明いただきました。また、障害を持って生活する中で遭遇する様々な障壁などについてお話いただき、色々と感じかされる時間でした。

西川流の皆さま、恩田竜二選手・奥様、式典にご参列・ご祝辞・祝花をいただきました皆さまには心より御礼申し上げます。



【実演を交え熱弁する恩田竜二選手】



専門学校
星城大学リハビリテーション学院
開校20周年記念式典・記念講演

進化する星城

-キャンパスの進化2-

「心の教育」の推進

名古屋石田学園では、2023年度より「心の教育」を念頭に置いた学内環境改善計画の取り組みを推進しています。

環境の整備を情操教育の一環として、豊かな人間形成につながる学びの場づくりを目指しています。

「各学校のキャンパスがどのように進化しているのか？」進化したキャンパスの姿をご紹介します。

今号では星城高等学校編として、星城高校における学内環境改善計画のテーマと進化を遂げた学び舎を見てみましょう。

星城高等学校

星城高等学校では、環境改善に向けた様々な取り組みを進めています。

本館校舎竣工から18年経過し、各設備の更新時期を迎えています。今年度については、本館エリアを中心に改修・更新工事を実施・計画しています。これにより快適な教育環境の向上を目指しています。

なかでも、近年の気温上昇により生徒の健康面での熱中症等の対策として、本館教室棟および食堂棟空調設備更新、明德館空調設備設置を中心とした工事を実施しました。

その他には、下記の工事を実施・計画しています。

- 本館階段床シート貼り替え
 - 本館生徒用トイレ改修工事
 - 本館6階会議室机更新*
 - 明德館舞台照明LED化*
 - 石田記念館放送設備更新*
 - Wi-Fi機器一部更新*
- *印は秋以降に工事予定

体育館（明德館）空調設備設置

本校のメイン体育館となる明德館に空調設備を設置しました。これにより、体育の授業が安全かつ快適に行えることと、今まで石田記念館で行っていた夏場の集会など、使用の幅が広がりました。

また、部活動でも快適に練習できる環境となり、一層の競技力の向上が期待されます。

本館教室棟および食堂棟空調更新

本館校舎完成から18年が経過し、空調設備についても故障や効きが悪いなど、老朽化のため改修を行いました。今年度は、教室棟（28教室）と食堂棟の空調設備を更新しました。

今回更新した機器は、空気清浄機能があるものを選定しており、生徒の健康面にも配慮しました。

【キレイで衛生的なお手洗いに生まれ変わりました】



【教室の空調が新しくなり快適に学習も捗ります！】



【体育館に設置された空調「スポーツの星城」益々の活躍に期待です！】

本館生徒用トイレ改修



生活環境の変化にともない、和式トイレになじみのない生徒が多くなり、使用する機会が減少している本館生徒用トイレを、和式トイレから洋式トイレに改修しました。

また、手洗い水栓も手動式から手をかざせば水が出る自動水栓に取替えをし、衛生面にも配慮しました。

星城高校



深津旭弘選手

深津貴之コーチ

木村泰輔コーチ

前田翔吾コーチ

2024年夏、フランスのパリで盛大に行われたオリンピック競技大会。これまでも多くの星城高校卒業生が、オリンピックという大舞台で活躍してきました。

今大会でも、石川祐希先輩（男子バレーボール日本代表選手・キャプテン）、深津旭弘先輩（男子バレーボール日本代表選手）、深津貴之先輩（男子バレーボール日本代表コーチ）、木村泰輔先輩（女子バレーボール日本代表コーチ）、前田翔吾先輩（女子レスリング日本代表コーチ）が、それぞれの役割のもと、たくさんの感動と希望を届けてくれました。

9月2日（月）、4名の先輩方がパリオリンピックの報告会として星城高校を訪れました。各クラスへはライブ中継という形での報告会となりましたが、どのクラスもオリンピック選手の生の声が聞けるとあって、好奇心掻き立てられる報告会となりました。

◇メディア部司会のもと、先輩方の紹介があり、選手・コーチの立場から、オリンピックに参加して感じたこと・経験したこと・在校生たちに伝えたいこととしてお話いただきました。

生徒からは「『高校時代からの頑張り、今の自分を作っている。高校生のみんなも、何でもいから目標を持って、時間を無駄にしないで一生懸命に取り組んでほしい。』という言葉に、感慨深いものを感じた。残りの高校生活を、もっと充実したものにしたい」など、感想が寄せられました。



【選手の生の声を教室へ届けます！】

◇生徒会会長からは、「選手として、またはコーチとして、試合やトレーニングをする際に、最も重要視している戦略や技術は何ですか？そしてそれが選手のパフォーマンスにどのように影響しましたか？」、生徒会副会長からは、「選手として挫折した時、どのように乗り越えてきましたか？また、コーチとして挫折した選手に対してどのようなアドバイスを送りましたか？」と質問があり、短くも深い質問に一瞬戸惑いながらも、選手として、あるいはコーチとしての確かなアドバイスをいただきました。

石川祐希選手のメッセージ

「パリオリンピックに参加して」

星城高校在校生の皆さん、名古屋石田学園職員の皆様、いつも多大なる応援をありがとうございます！

この度、私、石川祐希は全日本男子バレーボールチームのキャプテンとして、パリオリンピックに参加しました。ドイツ戦では、星城高校記念館でパブリックビューイングを開催し、大声援をいただきバレーボールを楽しんで頂いたと、同級生の中根先生からお聞きしました。

今回のオリンピックはメダルを目指して臨みましたが、メダルに届かずに悔しい気持ちでいっぱいですが、前回の東京五輪とは違い今回は、有観客で本来のオリンピックの雰囲気を感じることができました。それはとても良い経験でしたし、楽しかったです。

現在、私は、セリエA（イタリアリーグ）の新天地ペルージャというチームで世界を目指して頑張っております。星城高校バレーボール部のモットーである「感謝の気持ちを忘れずに！」を胸に世界で輝きます！

4年後のロサンゼルスオリンピックまではまだ時間があります。次こそはメダルを取る為に、自分自身をひとまわりもふたまわりも大きく成長させます。

改めて応援ありがとうございました。

石川祐希



学園アラカルト

大学祭「星祭」にて「こども食堂」をオープン!!

星城大学

10月12日(土)・13日(日)、経済的貧困だけでなく、食育の推進や、地域の子ども達に「食」を通じて、「元気」と「笑顔」を届けたいという想いから、学生有志とNPO法人 ChikiChiki 隊様のご協力を得て、「こども食堂」をオープンしました。

両日ともオープン前から並んでいただき、452名もの多くの方にご来場いただきました。準備していた唐揚げ弁当は、オープンから約30分で完売!



【ご来場ありがとうございました】



【大きなクラウンの登場にびっくり!】

食事中もクラウンによるパフォーマンスがあり、とても賑やかで笑顔あふれる食堂になりました。

また、味の素株式会社様からご提供いただいた、フードロス商品を活用した芋ケーキなども販売し、これらの利益をこども食堂の運営費として活用します。

ボランティアの大学生にとっては、たくさんの子ども達とふれあい、貴重な経験ができ、とても満足した様子でした。今後も一人でも多くの子ども達に知ってもらい、利用してもらえるよう、継続的な活動をしたいと考えます。

リスタート! 星城高校の国際交流

星城高等学校



【オーストラリア短期留学】

そんな中、令和6年度は、ブルガリアへ10名の星城生を派遣することができました。また、オーストラリア短期留学にも、9名の生徒が参加しました。

日本とは違う環境で生活し、その国の文化や歴史に触れたみなさんは、ますます世界観を確立し、おのれの視野を広く深めていくことでしょう。

星城高校の国際交流はリスタートしたばかりです。今後の発展に、ぜひ期待してください。



【ブルガリアの街を散策!】

令和元年度、66名もの星城高生が世界に飛び出しました。ブルガリア交換留学では、東欧の魅力的な文化や歴史に触れ、アメリカ短期留学では、多様性と活気にあふれた社会での生活を体験し、オーストラリア短期留学では、美しい自然環境や多文化主義を肌で感じながら理解する。このような貴重な経験を積む星城高生の国際交流は、長い間コロナ禍におかれ、まるで時計の針が止まっていたかのようでした。

新しいことに挑戦! 体育祭

星城中学校

「新しいことに挑戦する体育祭」をテーマに、10月19日(土)開催に向け、早くから実行委員会を中心に企画を練り上げてきました。チーム数を増やして競技性を高めたり、演舞を2グループに分けて出来栄を競うなどの新企画を準備していました。

前日の段階で、当日が午後から雨予報だったので、平日への延期も検討しました。しかし、「家族の前で体育祭をやって、自分たちの成長した姿を見てもらい、日頃の恩返しをしたい!」という意見が生徒たちから出ました。



【全種目やり遂げました!】

雨が降り出す前に競技を終えるため、開会を早めるなど運営方法を見直し、競技間の準備も協力してスピードアップを図りました。その甲斐あって、全種目を無事行うことができました。

「雨」という課題にも、全員の力を合わせて対応した生徒たちの成長を感じられる体育祭となりました。



【気迫感じる宣誓!】

水族館で「お楽しみ保育」

星の城幼稚園

毎年夏休みに実施していた年長組の「お楽しみ保育」でしたが、今年度は暑さを避け、11月1日に名古屋港水族館に観光バスで行きました。

大きな水槽で泳ぐ魚たちに目を輝かせ、「この魚、知ってるよ!」などと楽しく話をしていました。イルカショーでは、イルカが高速回転したり、高くジャンプしたりするたびに「すごーい!」と歓声を上げたり、手をたたいたりして喜んでいました。



幼稚園に帰ってから、体育館で「OXクイズ」をして大いに盛り上がり、みんなと一緒にカレーライスを楽しく食べました。そして、夕暮れの中、保護者と一緒に帰途につきました。

【イルカさん、すごーい!!】



【大きな水槽だ〜】



【お魚たくさんいるね!】

「体育祭」今年も盛り上がりました!

星城大学リハビリテーション学院



【様々なお題をくぐりぬけ、リレーを繋ぎます!】

11月8日(金)に愛知県体育館にて、体育祭を開催しました。

今年度は、例年盛り上がりをもせるクラス選抜リレーや、ドッジボールをはじめとした全7種目の競技で得点を競いました。中でも20人リレーではチームの半数以上が参加しており、抜きつ抜かれつの白熱した試合を見せてくれました。

学生会が主体となって考えた競技は、学年やクラスの垣根を越えて盛り上げられる工夫が盛り込まれており、体育祭が終わる頃には、クラス関係なく会話を楽しんでいる姿が見られました。

学生一人ひとりの楽しく応援する姿や、真剣に競技に取り組む姿勢を見ることが出来ました。今後の学校生活でも楽しむときは楽しんで、勉強は真剣に、メリハリをつけて頑張っていきましょう。



【20人リレー第一走者、教員も参加しました!】

【準備に大忙し!お疲れさまでした!】



名古屋石田学園では、学生・生徒の皆さんが毎日芸術鑑賞できる環境づくりをしています。

星城大学本館、自分づくりセンターのエントランスホールが、4月にリニューアルされたことに伴い、このたび、彫刻家で星城懇話会会長の工藤潔先生より、彫刻作品3点を寄贈いただきました。学生の情操教育の一環として、また、大学を訪れていただいた皆さまの憩いの場として、広くご鑑賞いただけることでしょう。

工藤先生、貴重な作品を寄贈いただき、誠にありがとうございました。

Seijoh University

収蔵作品のご紹介

～エントランスホールが
アートフルな憩いの場に～

【duet】



【渚】



【光る海】



彫刻家 工藤 潔

石田正城理事長より「大学のエントランスホールがリニューアルされ、綺麗にはなったが何か息を感じない。彫刻を置いてはどうか。」とのご相談を受け、現場を案内していただきました。紺色の円柱、床の様相が印象的で、外の緑と光線も相まって、爽やかな空間を感じました。

さて、「学びの場に適した作品は？」思案の結果、3点を選びました。

まず1点目は、ホールの中心にある紺色の円柱にマッチするよう、動きのあるポーズで金色に、台座はグレーの円形をポイントにした“共生き”をテーマとした「duet」。2点目は、画家を目指してアメリカ留学を夢見る学生、その胸の内を羽ばたくウミネコで表現、夢と希望をテーマとした「光る海」。3点目は、爽やかなウクレレの音色で心の安らぎをテーマとした「渚」。この3点が意義のある空間を演出してくれると信じ、設置させていただきました。

彫刻の魅力が伝われば幸いです。



告知

星城懇話会「教育講演会」

地元の歴史 再発見！

「今こそ知ろう！ 葵の歴史

～隠された尾張徳川家の悲劇～」

日時：2025年2月15日(土) 14時～ 講師：奥山景布子氏

会場：星城大学 名古屋丸の内キャンパス

＜小説家、文学博士＞



星城懇話会 会員募集中!

星城懇話会では、教育的・文化的な分野を中心に年間通して事業を開催し、様々な事業を通じて、会員の皆様の交流や啓発、地域貢献を行っています。今後も楽しく魅力ある事業を企画してまいります。

＜星城懇話会事務局＞（学校法人名古屋石田学園法人本部内）

〒476-8588 東海市富貴ノ台2-172 TEL 052-689-6002 FAX 052-689-6003

MAIL konwakai@seijoh-u.ac.jp



【web サイト】